

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人ぜんりょう学園 でんき幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・健康で素直な明るい子ども
- ・自主自律の精神を養う
- ・礼儀正しい態度を身に付ける

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

### 1. 社会性の発達

- ・友達と協力し、思いやりを持って関わることができる。
- ・自分の気持ちや考えを言葉で表現し、他者とコミュニケーションをとることができる。

### 2. 自立心の育成

- ・日常生活の基本的なルールやマナーを守り、自分でできることを増やす。
- ・身の回りのこと（着替え、手洗い、片付けなど）を自分で行うことを習慣化する。

### 3. 感性や創造力の育成

- ・絵を描いたり、歌を歌ったり、体を使った表現を通して、感性を豊かにする。
- ・想像力を働かせて、遊びや活動に取り組む。

### 4. 体力の向上

- ・身体を動かす遊びや運動を通じて、体力や協調性を高める。
- ・さまざまな遊具や遊び道具を使って、体を使う楽しさを感じる。

### 5. 知識・思考力の向上

- ・基本的な数字や文字、色、形などに親しみ、興味を持つ。
- ・簡単な問題解決や創造的な遊びを通じて、思考力を育む。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
運営	B	本年度2学期から2歳児の受け入れを開始。開始当初は入園希望がなかったが、3学期から1名を受け入れた。満3歳児クラスと合同で保育を行っているが、落ち着いた状況で保育が行えている。次年度は年度当初から複数名の入園が決まっているので、第一に安全を心がけて、子ども達が安心できる環境で過ごせるよう職員配置や園内の環境を整えていきたい。
地域との関わり	B	幼小連携では、若園小学校との交流会を学期毎に計画し、年長組が小学校を訪れる形で実施することができた。間近に進学を控えている年長組にとっては、実際に小学校の雰囲気を感じることで、進学に対する不安を解消することに繋がっていくと思うので、日程の調整が難しい面もあるが、今後も継続的に交流を図っていきたい。
研修	A	今年度も北九州市私立幼稚園連盟主催の教師研修大会、小倉南私立幼稚園協会主催の教師研修大会に全教諭で参加。北九私幼連の分科会では各々で選んだ課題の研修を受け、学びを深めることができた。また、小倉南私立幼稚園協会で行われた研修等にも各々希望するテーマの研修に参加し、年間を通して多くの研修を受講する機会を得ることができた。

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>今年度も計画したカリキュラム通りに進めることができ、子ども達も落ち着いた様子でのびのびと健やかに成長していく姿が見られた。</p> <p>今年度から本格的に導入した ICT システムにもこの1年間で幾分慣れてきており、電話対応減少など業務効率化も図れている。まだ使いこなせていない機能もあるので、今後もチャレンジしていき、効率化を進めていきたい。</p> <p>子育てサークルには、各回安定して参加申し込みがあり、特に人気のあるイベントでは申し込みを早期に締め切ることもあった。しかしながら、園児募集の面では苦しい状況が続いているので、サークル活動の周知を広げて新規の参加者を募り、園と接する機会を増やしていきたい。</p>

#### 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
健康・安全 環境面	熱中症や感染症対策、および園バスや園内外の活動における安全面の再チェックと強化を図る。
地域との関わり	地域の子育てスペースとしての認知を高めるため、子育てサークル年間計画の早期立案と周知の強化を図る。

#### 6. 学校関係者の評価

本園は、1年を通して計画的に保育を行い、子どもたちが安心してのびのびと成長できる環境づくりに力を入れている点がとても評価できます。2歳児の受け入れ開始や ICT システムの導入など、新しい取り組みにも前向きで、職員が研修に参加することで教育の質を高めようとする姿勢も見られます。こうした努力により、園全体として安定した運営が続けられています。

一方で、全国的な出生数の減少により、入園希望者が少なくなっていることは大きな課題です。特に地域の未就園児が減っているため、園児募集がこれまで以上に難しくなっており、新しい工夫が必要とされています。

その中で、子育てサークルは本園にとってとても大切な存在です。サークル活動は地域の子育て支援として高く評価され、参加者も安定しているため、園の良さを直接伝えられる貴重な場になっています。出生率が下がる今の時代において、地域の未就園児家庭と早い段階でつながりをつくるための、もっとも効果的な取り組みの一つと言えます。

今後は、子育てサークルの年間計画を早めに立てたり、広報を強化したり、園見学や在園児との交流の機会を増やしたりすることで、地域の中で幼稚園の存在感を高め、園児募集の改善につなげていくことが期待されます。

総合すると、本園は教育活動・職員研修・地域との連携の面で着実に成果を上げています。これからは、子育てサークルを中心に地域とのつながりをさらに深めながら、社会の変化に対応しつつ園の発展を目指していくことが求められます。

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印